



# I ひらく

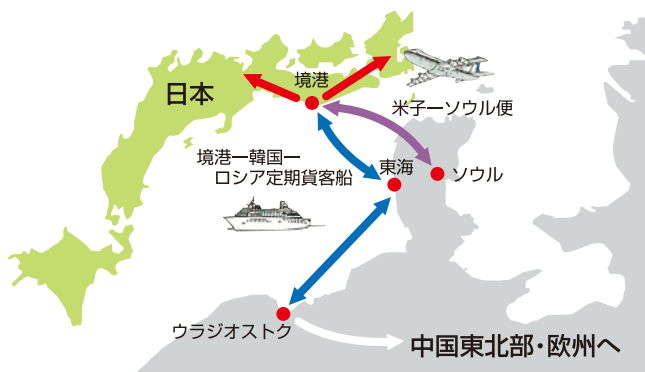
地域で・県外で・国外で  
新時代に向かって扉をひらく

鳥取県が、人・物の西日本における北東アジア地域への窓口に

## 1 人、物、情報の「大交流新時代」を切り拓く ～「北東アジアゲートウェイ(玄関)構想」

- 高速道路の整備と鉄道の利便性の向上、定期航路の拡充などにより、近畿圏域や環日本海諸国・アジア諸国などとの交通の便を強化し、新たな市場開拓を進めるほか、新たな産業の立地を促進します。
- 定期航路・航空路の拡充などにより、国際経済交流を促進します。
- 近畿圏域や他県と連携して、広域観光を展開したり、海外での見本市開催や事業展開を図るなど、県外・国外に打って出ます。

### 北東アジアゲートウェイ構想



境港と米子空港を拠点として、西日本における北東アジアの玄関(北東アジアゲートウェイ)への発展を目指します。

## 2 下請体質から「高付加価値で打って出る産業」へ 転換し、新たなステージへチャレンジ

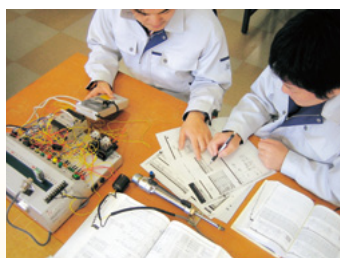
- 電子・電機・液晶関連産業や、食品・健康科学(バイオ関連)産業、環境産業、医療機器産業などの次世代産業分野の集積を進めます。
- 県内製造業等の高付加価値化を進め、マザー工場への転換や新規立地を促進します。
- 鳥取自動車道開通のメリットを活かせるよう、県内工業団地の整備を促進します。
- デザイン戦略や知的財産を活かしたビジネスモデルの展開などを図ります。
- 新分野への進出に対し農商工観が連携し、必要に応じてフォローアップするなど、県内産業構造の転換に対応した新分野進出を支援します。
- 県内技術を活かした新開発製品を行政が試行的に使用するなど、県内中小企業の活動を支援します。
- 若者が起業にチャレンジしやすい環境を官民連携で創出します。



韓国での博覧会

## 3 就業を希望する人が県内で「いきいきと働ける就業環境」を整備

- 産業再配置、企業立地促進などにより、雇用の場を創出します。
- 経済界・労働界や、福祉・子育て関係機関、地域などと行政が一体となって、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)や男女共同参画が可能な環境を整備し、子育て支援を進めます。
- 産業人材育成センターのあり方を抜本的に見直し、ポリテクセンターと一体となった職業訓練を行い、県内産業を支える人材を育成します。
- 若者仕事ぶらざ、就業支援員などにより、就業困難者の就業機会を確保します。地域のネットワークを活かし、障がいのあるかたの就業支援を進めます。
- IUUターン希望者への情報提供や相談窓口の充実により、就業環境を整備します。



県立産業人材育成センターでの職業訓練(コンピュータ制御科)



とっとり若者仕事ぶらざ



#### 4 素材が良く、安全安心で美味しい食の魅力を提供する「食のみやこ鳥取県」の推進と、それにふさわしい農林水産業

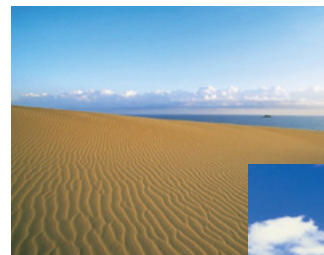
- 高速交通体系の整備などにより、県内の新鮮な食材が県内外に流通し、県外の買物客が増加する「食のみやこ」を目指します。
- 東京のアンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」に加え、大阪、名古屋、福岡などでの情報発信機能を強化します。
- 本県の食を健康、安全、観光などと結び付け、一つの「文化」として定着させます。
- 年間を通じて本県の農産物を出荷するとともに、鳥取オリジナル品種、こだわりのある農産物等(梨新品種の導入による鳥取梨のシリーズ化等)を育成・普及します。
- 隣県・近県と連携した「地域連携ブランド」(大山・中海圏域など)を打ち出すなど、地域の特性を活かした特産品創出・ブランド化を推進します。
- 「鳥取和牛」、「大山ルビー」、「鳥取地どりピヨ」、県産ブランド椎茸など、おいしい鳥取ブランドを形成します。
- 鳥取の農産物や加工食品の知名度が向上するよう、輸出拡大の取組を進めます。
- 農林水産物の一大生産・供給拠点を目指すフードバレーの取組を進め、農家所得の向上を目指します。
- 高鮮度化や市場の衛生管理強化、新たな特産魚種の育成・普及を行い、強い産地と豊かな漁場をつくります。



アンテナショップ(とっとり・おかやま新橋館)

#### 5 観光による「ようこそ、ようこそ鳥取県」の実現

- 県民が「もてなし」の意識を向上させ、観光に参画することを推進します。
- 旅行会社などと連携しながら、地域資源を活かした着地型観光メニュー(※)の充実・ネットワーク化・情報発信を図ります。  
※地元ならではの体験・参加型メニュー
- 地域自らが、自然、温泉、歴史、食、文化、人物等に着眼し、知恵と力を結集させて地域資源を磨き、行政がその取組内容に応じたサポートをしていきます。
- 近隣県の観光資源と連携した周遊ルートの造成や、マンガ関係施設を巡る旅行などテーマを設定した広域的な周遊ルートの造成等により、観光客の増加を目指します。
- 本県の自然、温泉、食の魅力などにより、エコツーリズム、スポーツツーリズムなどのニューツーリズムや滞在型の観光客の増加を目指します。
- キャンペーンなどのソフト面や特急の増便、鉄道を活用した新たな旅の創造などについて、鉄道会社や旅行会社などの関係機関と協力・連携を進めます。
- 米子ソウル便の利便性の向上、国際チャーター便の増加、定期航路の充実等により、東アジアを中心とした海外観光客の増加を目指します。



鳥取県とロシア沿海地方の青少年環境学習交流の様子

#### 6 活気あふれる「海外との交流」

- さいかいこう 境港、米子空港などをアジア諸国との交流の拠点とし、経済・ビジネス活動、文化、青少年、地域活動、スポーツ、大学などの多様な分野で幅広い交流を推進します。
- 友好交流先である韓国江原道、中国吉林省、ロシア沿海地方、モンゴル中央県などの北東アジア地域と連携して、環境問題の課題解決などさまざまな取組を推進します。
- 台湾台中市やアメリカバーモント州などと、官民さまざまなネットワークを活用し、幅広い分野での交流を支援・推進します。

これまでの主な成果

- ★ DBSフェリーの就航／鳥取空港5便化／米子空港6便化・機材大型化／クルーズ船入港増加
- ★ 経営革新計画承認件数 507件(H11～25年度)<目標440件(H11～H30年度までの累計)>
- ★ 企業立地件数 229件(H20～H25年度)<目標150件(H30年度までの累計)>
- ★ 鳥取県ふるさと認証食品の認証数 483件(H3～25年度)<目標500件(H30年度末)>
- ★ 新規就農者数 649人(H21～H25年度)、林業就業者数254人(H21～H25年度)
- ★ 観光客入込客数 10,909千人(H25)<目標10,000千人(H30年度)>
- ★ 県内宿泊者数 273万人(H25)<目標200万人(H30年度)>
- ★ 外国人宿泊者数 36,910人(H25)<目標30,000人(H30年度)>
- ★ 山陰海岸の世界ジオパーク認定(H22)

